

大会日程

5月10日(土)		
09:20～09:40	開会式	A会場
09:40～11:10	基調講演	A会場
11:10～12:30	社員総会・授与式	A会場
13:00～16:00	国際シンポジウム	A会場
13:00～14:50	口頭発表(K-A)	第1～5、18会場
13:00～14:30	自主シンポジウム(J-A)	第6～17会場
13:00～14:00	ポスター発表(P-A)	ポスター会場1、2
13:30～15:30	実行委員会企画シンポジウムA	B会場
14:50～16:20	自主シンポジウム(J-B)	第6～16会場
15:00～16:00	ポスター発表(P-B)	ポスター会場1、2
15:10～16:25	口頭発表(K-B)	第1～5会場
16:10～18:10	実行委員会企画シンポジウムB	B会場
16:30～18:30	組織検討委員会シンポジウム	A会場
16:30～17:30	ポスター発表(P-C)	ポスター会場1、2
16:40～18:30	口頭発表(K-C)	第1～5、18会場
16:40～18:10	自主シンポジウム(J-C)	第6～16会場

5月11日(日)		
09:00～10:30	口頭発表(K-D)	第1～5、18会場
09:00～10:30	自主シンポジウム(J-D)	第6～16会場
09:00～10:00	ポスター発表(P-D)	ポスター会場1、2
10:00～12:00	学会企画 編集常任委員会シンポジウム	A会場
10:45～12:15	口頭発表(K-E)	第1～5、18会場
10:45～12:15	自主シンポジウム(J-E)	第6～16会場
11:00～12:00	ポスター発表(P-E)	ポスター会場1、2
13:00～15:00	学会企画 課題研究委員会シンポジウム	A会場
14:00～16:00	実行委員会企画シンポジウムC	B会場
13:00～14:50	口頭発表(K-F)	第1～5、18会場
13:00～14:30	自主シンポジウム(J-F)	第6～16会場
13:00～14:00	ポスター発表(P-F)	ポスター会場1、2
14:45～16:15	自主シンポジウム(J-G)	第6～16会場
15:00～16:00	ポスター発表(P-G)	ポスター会場1、2

会場と発表区分【口頭発表】

【口頭発表】

5月10日（土）

会場	K-A (13:00-14:50)
第1会場	K-A-1 障害児保育・障害のある子どもを含む保育など
第18会場	K-A-2 保育内容（保育内容総論・遊び）など
第3会場	K-A-3 保育制度・保育行財政など
第5会場	K-A-4 保育者の資質能力・保育者の専門性など 1
第4会場	K-A-5 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など 1
第2会場	K-A-6 児童福祉・児童の人権など、その他

会場	K-C (16:40-18:30)
第1会場	K-C-1 乳児保育（0,1,2歳児保育）など
第18会場	K-C-2 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 1
第3会場	K-C-3 保育専門職の養成など 1
第5会場	K-C-4 保育者の資質能力・保育者の専門性など 2
第4会場	K-C-5 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など 2
第2会場	K-C-6 幼保一体化・幼保小連携など

会場	K-B (15:10-16:25)
第1会場	K-B-1 保育マネジメントなど 1
第3会場	K-B-2 保育思想・保育理論・保育史など 1
第5会場	K-B-3 児童文化・児童文化財など
第4会場	K-B-4 保育環境・保育教材 1
第2会場	K-B-5 多文化教育・異文化理解・ジェンダーなど 1

5月11日（日）

会場	K-D (9:00-10:30)
第1会場	K-D-1 保育専門職の養成など 2
第18会場	K-D-2 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 2
第3会場	K-D-3 保育思想・保育理論・保育史など 2
第5会場	K-D-4 保育者の資質能力・保育者の専門性など 3
第4会場	K-D-5 教育計画・保育計画・指導計画・評価など、その他
第2会場	K-D-6 保育者の資質能力・保育者の専門性など 4

会場	K-E (10:45-12:15)
第1会場	K-E-1 保育専門職の養成など 3
第18会場	K-E-2 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 3
第3会場	K-E-3 保育思想・保育理論・保育史など 3
第5会場	K-E-4 保育者の資質能力・保育者の専門性など 5
第4会場	K-E-5 保育環境・保育教材 2
第2会場	K-E-6 多文化教育・異文化理解・ジェンダーなど 2

会場	K-F (13:00-14:50)
第1会場	K-F-1 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など、その他 3
第18会場	K-F-2 保育方法（保育方法論・保育形態・幼児理解）など
第3会場	K-F-3 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 4
第5会場	K-F-4 保育者の資質能力・保育者の専門性など 6
第4会場	K-F-5 保育マネジメントなど 2
第2会場	K-F-6 保育専門職の養成など 4

〈補足〉

発表数が4の場合は75分、5の場合は90分、6の場合は110分が在席時間になります。

【ポスター発表】

5月10日（土）

会場	P-A (13:00-14:00)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-A-1 幼保一体化・幼保小連携など 1
ポスター会場2 (アリーナ)	P-A-2 幼保一体化・幼保小連携など 2
ポスター会場2 (アリーナ)	P-A-3 児童文化・児童文化財など
ポスター会場2 (アリーナ)	P-A-4 多文化教育・異文化理解・ジェンダーなど
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-A-5 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 1
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-A-6 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 2

会場	P-C (16:30-17:30)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-C-1 障害児保育・障害のある子どもを含む保育など 1
ポスター会場2 (アリーナ)	P-C-2 障害児保育・障害のある子どもを含む保育など 2
ポスター会場2 (アリーナ)	P-C-3 発達論・心身の発達など
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-C-4 保育思想・保育理論・保育史など、その他
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-C-5 保育マネジメントなど

会場	P-B (15:00-16:00)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-B-1 保育者の資質能力・保育者の専門性など 1
ポスター会場2 (アリーナ)	P-B-2 保育者の資質能力・保育者の専門性など 2
ポスター会場2 (アリーナ)	P-B-3 保育専門職の養成など、その他 1
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-B-4 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 3
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-B-5 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 4

5月11日（日）

会場	P-D (9:00-10:00)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-D-1 保育専門職の養成など 2
ポスター会場2 (アリーナ)	P-D-2 保育専門職の養成など、その他 3
ポスター会場2 (アリーナ)	P-D-3 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など 1
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-D-4 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）、その他 5
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-D-5 保育方法（保育方法論・保育形態・幼児理解） など

会場	P-F (13:00-14:00)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-F-1 保育専門職の養成など 4
ポスター会場2 (アリーナ)	P-F-2 保育専門職の養成など 5
ポスター会場2 (アリーナ)	P-F-3 保育専門職の養成など 6
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-F-4 保育環境・保育教材 1
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-F-5 保育環境・保育教材 2

会場	P-E (11:00-12:00)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-E-1 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など 2
ポスター会場2 (アリーナ)	P-E-2 家庭保育・家庭及び地域の連携・子育て支援など 3
ポスター会場2 (アリーナ)	P-E-3 乳児保育（0,1,2 歳児保育） など、その他
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-E-4 教育計画・保育計画・指導計画・評価など、その他
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-E-5 保育内容（保育内容総論・遊び） など

会場	P-G (15:00-16:00)
ポスター会場2 (アリーナ)	P-G-1 保育者の資質能力・保育者の専門性など 3
ポスター会場2 (アリーナ)	P-G-2 保育者の資質能力・保育者の専門性など 4
ポスター会場2 (アリーナ)	P-G-3 保育者の資質能力・保育者の専門性など 5
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-G-4 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 6
ポスター会場1 (ラウンジホール)	P-G-5 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） 7

【自主シンポジウム】

5月10日（土） 13:00～14:30

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-A-1	ダイバーシティ・インクルージョン保育を進めるための人材育成・体制整備を図る園経営と今後の展望
第9会場	J-A-2	子どもの権利から保育士配置基準を考える～保護者・保育者はなぜ声をあげたのか？～
第10会場	J-A-3	インクルーシブな保育の立ち位置と可能性をめぐって
第11会場	J-A-4	「子どもの遊び『想像の世界』を生きる表現教育」 ～保育者養成における表現教育の今を問う～
第12会場	J-A-5	父親の乳幼児への語りかけ方について考えるーマザリーズの視点からー
第13会場	J-A-6	子どもの声からはじまる保育アセスメント：ドキュメンテーションを中心に
第14会場	J-A-7	睡眠教育・みんなくってなに？
第15会場	J-A-8	保育制度のナショナルミニマム／ローカルオプティマムの現状と保育者配置、労働条件と保育
第7会場	J-A-9	日本におけるアトリエリスタの保育実践 ー『レジヨ・エミリアにおけるアートと創造性』の翻訳を通じた対話からー
第8会場	J-A-10	幼児のデジタルリテラシーを育成する手法の検討
第16会場	J-A-11	医療的ケア児保育の実践と学びあい ー入園から就学までの育ちと保育者・看護職の学びー
第17会場	J-A-12	令和の日本型保育改革 ー藤森メソッドの試みー

5月10日（土） 14:50～16:20

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-B-1	「背中の保育」から探る「日本型保育実践」の魅力：実践者と研究者の対話から
第9会場	J-B-2	子どもたちの「体験」が「学び」になるためには何が必要か？ ～教育ドキュメンテーション (pedagogical documentation) の役割と課題～
第10会場	J-B-3	地方都市での「気になる子」の保護者支援における養成校と保育現場の協働 ー筑豊地域における三つの実践報告をもとにしてー
第11会場	J-B-4	ラーニングストーリーを実習生が書く意味を問う：記録がもたらす子ども理解の新たな形
第12会場	J-B-5	「子どもをあらわすということ」を考える
第13会場	J-B-6	パネルシアターをどのように授業に取り入れるか ー保育者養成校における実践を通してー
第14会場	J-B-7	知育玩具のある保育の風景
第15会場	J-B-8	保育学生が人と関わりたいと思う授業づくり ー講義科目における意見交換のあり方ー
第7会場	J-B-9	0歳児保育にかかわる質の評価と展望
第8会場	J-B-10	発達障害のある子どもを含む集団保育への音楽療法 ー幼児期を臨界期とする感覚機能育成のための音楽の活用法ー
第16会場	J-B-11	インクルーシブな保育を継続し、深めていくために考えるべきこと

5月10日（土） 16:40～18:10

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-C-1	自然災害と保育～いのちを守るためにできること～
第9会場	J-C-2	ろう教育におけるデフフッドの観点から「遊び保育」を考える
第10会場	J-C-3	「こども誰でも通園制度」の意義と地域における保育施設の役割—こどもの育ちに焦点をあてて
第11会場	J-C-4	ことばは、出来事（こと）の端（は） —「保育（こと）」を丸ごと語り合おう—
第12会場	J-C-5	トライアル・アンド・エラーから学ぶ質の向上を目指す保育マネジメント（4） ～保育実践とマネジメントの両義的方向性～
第13会場	J-C-6	感じ合う保育の省察に向けて
第14会場	J-C-7	乳幼児教育・保育のカリキュラム編成および指導計画の作成に関する養成教育の現在とこれから —子ども中心信念（child-centered beliefs）を観点として—
第15会場	J-C-8	学生・保育現場・養成校の3者におけるよりよい実習の在り方Ⅱ —共同体として学びを繋げるための具体的方策—
第7会場	J-C-9	多様性を尊重し一人ひとりが輝く保育を目指して（1） —安心して自己発揮し、共に育ちあうための保育者の役割—
第8会場	J-C-10	保育における子どもと音楽を考える
第16会場	J-C-11	認定こども園における2-3歳接続期の課題Ⅱ

5月11日（日） 9:00～10:30

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-D-1	自律・自走型研修の開発—保育現場・行政・養成校による連携と協働—
第9会場	J-D-2	子どもの権利について考える —子どもの権利の歴史的変遷・日本国憲法との関係・こども家庭庁の実践—
第10会場	J-D-3	保育者の専門性研究と養成・現職教育の接合点を探る
第11会場	J-D-4	限られた保育スペースで実現する乳幼児の運動遊び—布製ボールを活用した新たな可能性—
第12会場	J-D-5	インクルーシブ保育・幼児教育における「カリキュラム・マネジメント」とは
第13会場	J-D-6	表現は指導するものか
第14会場	J-D-7	共に生きる —神様の愛を感じること—
第15会場	J-D-8	構成遊びにおける発達と保育 —実証的知見に基づいた検討—
第7会場	J-D-9	「それっておもしろいか？」 ～こどもの世界をご機嫌で語る保育者のまなざし～
第8会場	J-D-10	保育現場における「楽器」のあり方を問う
第16会場	J-D-11	保育関係者が対応に苦慮する保護者の特徴 ～実証研究および事例研究からの知見～

5月11日（日） 10:45～12:15

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-E-1	子どもを育む木製玩具 ～デザイン・環境・保育における活用から考える～
第9会場	J-E-2	子どもの主体的なあそび、学び、育ちを支える園庭・校庭・まちの環境について考える 8 ～子どもと保育者（園）の小さな挑戦の積み重ねの機会の大切さを考える ―環境設定、安全性も踏まえて～
第10会場	J-E-3	ユーモアで遊ぶ・かかわる ―おとなが楽しむと、子どものセンスが光る―
第11会場	J-E-4	多文化の背景を持つ子どもと遊び ―インクルーシブな保育の実現に向けて
第12会場	J-E-5	保育カリキュラムが生成する倫理的価値 ―保育実践において「逸脱」を語るには―
第13会場	J-E-6	韓国における育ちあう多文化保育の実践
第14会場	J-E-7	地方におけるインクルーシブな保育の課題と展望
第15会場	J-E-8	非都市部における保育と子どもの発達の現状と課題 ―福岡県筑豊地方における3歳児から5歳児の縦断研究を通して―
第7会場	J-E-9	子ども主体の保育と安全③ ―低年齢児の主体的な遊びと安全について考える
第8会場	J-E-10	「保育事故」をなくすために（9）―「こども誰でも通園制度」で子どもの命は守れるか―
第16会場	J-E-11	保育者養成校における特別支援教育 ―授業実践から保育と特別支援教育との親和性を探る―

5月11日（日） 13:00～14:30

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-F-1	ケアと学びの保育リーダーシップ―関係性の変容をもたらす実践アプローチ―
第9会場	J-F-2	子どもの権利に基づく保育実践を考える ―相模原市の取り組みより―
第10会場	J-F-3	「保育する身体」を問いなおす―子どもの人間学の視点から
第11会場	J-F-4	保育現場における子どもと家庭のアセスメントの理解を深めるための研修プログラムの構築と試行
第12会場	J-F-5	ペダゴジカル・ドキュメンテーション、なに？だれのため？なんのため？
第13会場	J-F-6	保育的事実の構築
第14会場	J-F-7	園内研修とマネジメントで保育現場はどう変わるか？
第15会場	J-F-8	保育の場で後輩と共に働くことで見えてくること
第7会場	J-F-9	遊びを通じた NOS（Nature of Science）の学びを探る ― 保育環境におけるモノやコトとの関わりから ―
第8会場	J-F-10	孫育ての現状と課題 ―子育て知識・世代間ギャップ・孫育てイメージからの検討―
第16会場	J-F-11	韓国における保育者養成の現状と課題 ― 保育と幼児教育の質の確保に向けた取り組み（2016年～2024年）―

5月11日(日) 14:45～16:15

会場名	講演番号	テーマ
第6会場	J-G-1	社会的子育てを育む環境を考える
第9会場	J-G-2	子どもを真ん中に保育を考えるⅤ ～子どもの「なる」姿をめぐる～
第10会場	J-G-3	位置測位システム活用の可能性を考える～保育の可視化と質の維持・向上をめざして～
第11会場	J-G-4	幼保小接続に取り組む保育者・教師の実践的思考
第12会場	J-G-5	幼児～児童期における学びが自覚化する教師の働きかけ
第13会場	J-G-6	コミュニティ再生における遊び心の持つ意味③ —大人の遊び心が育つ体験から考える—
第14会場	J-G-7	公立幼稚園における学びの継承—未来にむけて
第15会場	J-G-8	「愛と知の循環」の保育実践
第7会場	J-G-9	評価スケールと保育の質の向上：保育実践と組織の評価— ECERS/ITERS,PAS の可能性
第8会場	J-G-10	支え、繋ぎ、育む：日本のインクルーシブな保育への展望（4） —子ども理解を支える保育者のまなざし、かかわり、園内体制—
第16会場	J-G-11	対人関係の苦手な学生が保育専門職に就くために —保育現場への実態調査をもとにして—